

iichiko presents

VERUS STRING QUARTET

ウェールズ弦楽四重奏団

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲演奏会 第3幕

2019.1月16日[水] iichiko 総合文化センター iichiko 音の泉ホール

18:30 開場 19:00 開演

TICKET 一般 3,000yen [友の会びび 2,700yen]

U25割 1,500yen (25歳以下) ※U25割の取り扱いはいichiko総合文化センターインフォメーション、HPのみ

BEETHOVEN

PROGRAM ベートーヴェン作曲

弦楽四重奏曲 第9番 八長調 作品59-3「ラズモフスキー第3番」

弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 作品132

主催・お問合せ：iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]
〒870-0029 大分市高砂町 2-33 tel.097-533-4004

特別協賛：三和酒類株式会社 企画・制作 / iichiko総合文化センター

助成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協力：認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク / 第一生命ホール

後援：大分県、大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送

J:COM大分ケーブルテレコム、エフエム大分、ゆふいんラヂオ局、おおいたインフォメーションハウス

大分県企業局

RoHM Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



横溝 耕一 (ヴァイオリン)

崎谷 直人 (ヴァイオリン)

三原 久遠 (ヴァイオリン)

富岡 廉太郎 (チェロ)

ベートーヴェン・ツィクルスもいよいよ第3幕。ちょうど折り返し地点となります。
 今回のプログラムは第9番 ハ長調 作品59-3と第15番 イ短調 作品132です。
 ハ長調とイ短調は専門用語で“平行調”と呼ばれ、共に調号が用いられない、兄弟姉妹のような関係と言えます。
 しかしながらこの二作品は興味深い事に、彼の弦楽四重奏曲の中でも、最も違う性質を持っています。

第9番「ラズモフスキー」は外へ直接的なメッセージを発する、かなりエネルギッシュな作品です。この時期はベートーヴェン自身も創作意欲に溢れており、作品58がピアノ協奏曲第4番、作品60が交響曲第4番ということからもお分かりの通り、あらゆる分野で傑作を次々と生み出しました。この第9番では、各パートにソリストティックなパッセージが書かれていることなど、弦楽四重奏らしからぬ場面も現れます。

第15番は後期のピアノ・ソナタや第九交響曲を書き終え、弦楽四重奏曲の作曲に特化していた最晩年の作品です。イ短調という調性もさることながら、内へ内へと向かう神秘に満ちた作品と言えます。第3楽章のスコアには、ベートーヴェン自身の言葉として「神への聖なる感謝の歌」とあります。クアルテットが4つの楽器の集まりではなく、まるで一つの楽器であるかのような響きを感じることが出来ます。

ベートーヴェンという人物は、朝に友人たちと愉しく談笑していたかと思えば、午後になると突如不機嫌になり、部屋から一歩も出てこない、というようなエピソードが幾つも残っています。まさしく今回のプログラムは、そんな“人間”ベートーヴェンの二面性を感じて頂くことが出来ると思います。是非、足をお運び下さい。

ウェールズ弦楽四重奏団

ウェールズ弦楽四重奏団

2008年ミュンヘン国際音楽コンクールにて第3位、東京クアルテット以来38年ぶりの入賞を果たし話題を呼ぶ。2010年よりバーゼル音楽院にてライナー・シュミットのもとで研鑽を積む。同年、京都・青山音楽賞受賞。2011年バーゼル・オーケストラ協会 (BOG) コンクールにて“エクゼコー”賞受賞、第7回大阪国際室内楽コンクール第3位。2012年バーゼル音楽院を修了し、2013年に帰国。東京・春・音楽祭、Hakuju Hall、紀尾井ホール、王子ホール、水戸芸術館、第一生命ホール、ザ・フェニックスホール、宗次ホール等から招かれる。2015年fontecからデビューCDをリリース。NHKにもテレビ・ラジオ等に出演。2017年から大分・iichiko総合文化センターでベートーヴェン全曲演奏会6回シリーズがスタート。さらに全曲録音プロジェクトがfontecにて進行中。2016年神奈川フィル、2017年には名古屋フィルにソリストとして招かれ協奏曲を好演。2018年夏3枚目のアルバムとなるベートーヴェン全集<2>をリリース。また2019年秋からは第一生命ホールにてベートーヴェン全曲演奏シリーズがスタートする。



【好評発売中】
 ベートーヴェン / 弦楽四重奏曲全集1
 収録曲: 第2番ハ長調作品18-2
 第12番変ホ長調作品177
 FOCD9752 定価 ¥2,800+税



【NEW!!】
 ベートーヴェン / 弦楽四重奏曲全集2
 収録曲: 第16番ハ長調作品135
 第8番イ短調作品59-2
 (ラズモフスキー第2番)
 FOCD9787 定価 ¥2,800+税

■ 崎谷 直人 (ヴァイオリン) Naoto Sakiya, violin

1987年生まれ。ケルン音大、パリ市立音楽院、桐朋学園に学ぶ。ノボシビルスク国際コンクール第1位、メニューイン国際コンクール第3位。バーゼル響、東フィル、京響、神奈川フィル等と共演。高田美穂子、原田幸一郎、ジェラルド・プーレ、ロラン・ドガレイユ、ダニエル・ゼベックに師事。神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスター。

■ 三原 久遠 (ヴァイオリン) Hisao Mihara, violin

1989年生まれ。プロジェクトQ、小澤征爾音楽塾、若い人のための「サイトウ・キネン室内楽勉強会」、軽井沢八月祭フェローシップ・プログラム等に出演。ヴァイオリンを青木晶央、茂木佳子、澤和樹、木野雅之、藤原浜雄、室内楽を東京クアルテット、原田幸一郎、今井信子、原田禎夫、毛利伯郎、指揮を高関健に師事。東京都交響楽団員。

■ 横溝 耕一 (ヴィオラ) Koichi Yokomizo, viola

1986年生まれ。NHK交響楽団ヴァイオリン奏者。桐朋学園大学では室内楽試験において首席で修了し2009年に卒業。宮崎国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本等に参加。これまでに小川有紀子、小森谷巧、堀正文、徳永二男に、室内楽を徳永二男、毛利伯郎、原田幸一郎、東京クアルテットに師事。

■ 富岡 廉太郎 (チェロ) Rentaro Tomioka, cello

1986年札幌市出身。桐朋高校、桐朋学園大学に学ぶ。オーケストラの客演首席奏者の活動を始めとし、多数のコンサート、音楽祭に出演。上原与四郎、毛利伯郎に師事。2014年から2017年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団客員首席チェロ奏者を務める。2017年から読売日本交響楽団首席チェロ奏者。

ベートーヴェン・ツィクルス 始動! in 東京(クアルテット・ウィークエンド) ベートーヴェン全曲演奏会(1)2019年9月14日(土) ベートーヴェン全曲演奏会(2)2019年11月24日(日)
 会場: 第一生命ホール(東京都中央区晴海1-8-9) 主催: 認定NPO法人 トリトン・アーツ・ネットワーク お問い合わせ: 03-3532-5702 <http://www.triton-arts.net>

上演中の客席への入場は制限させていただきます。やむを得ない事情により、出演者などが変更されることがあります。
 ご予約後の変更およびキャンセルはお受けできません。公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの変更および払い戻しはいたしません。
 未就学児童の同伴はご遠慮ください。無料託児サービスをご利用ください(要申込: 1月7日(月)17時まで。満1歳児から未就学児まで。定員10名)。
 無料託児サービス及び車いす席のお問合せ: ご予約はiichiko総合文化センター(097-533-4004)までお電話でお申し込みください。

【チケット発売日】〈びび発売〉9月22日(土)10:00 〈一般発売〉9月29日(土)10:00

【チケット取扱】

友の会びびチケット予約専用番号 tel.097-533-4005
 iichiko 総合文化センター ホームページ(インターネット販売)
 iichiko 総合文化センター 1Fインフォメーション tel.097-533-4002
 エトウ南海堂(大分市中央町に移転しました) tel.097-529-7490
 トキハ会館3Fプレイガイド tel.097-538-3111
 トキハ別府店 tel.0977-23-1111
 ローソンチケット(ローソン各店) 《Lコード:81408》 tel.0570-000-407
 チケットぴあ(セブン-イレブン各店)《Pコード:126-187》 tel.0570-02-9999



■大分駅から徒歩約15分
 ■九州自動車道・大分ICから車で約7分
 ■大分空港から特急バス「エアライナー」にて大分駅まで約60分

【お問合せ】iichiko総合文化センター [(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団]
 tel.097-533-4004 〒870-0029 大分市高砂町2-33

iichiko 総合文化センター